

又ハ農商務技師等ニ講師ヲ囑託シテ講授スル事トセリ

第八章 回送

第一節 回送ニ關スル沿革

專賣創始ノ際ニ在リテハ各地方ニ鹽ヲ回送シ之ヲ需要者ニ供給スルハ悉ク鹽商人ノ自由ニシテ全ク競争販賣ニ依リテ自ラ需給ノ平準ヲ保タシムルノ主義ヲ採リ各鹽務局長ニ對シ左ノ心得ヲ内訓シタリ

大藏大臣内訓臨第一八六五號抄錄(明治三十八年五月十一日)

第十條 回送ノ爲鹽ヲ運搬スルトキハ其ノ數量ヲ減耗スルノミナラス各需要地ニ適宜配合セ

シムルハ寧ロ民間ニ委スルヲ利ナリト認ムルヲ以テ倉閭等已ムヲ得サル場合ノ外ハ鹽ノ回送ヲ爲ササルモノトス

然レトモ此ノ制度タルヤ鹽ノ供給ヲシテ全國ニ圓滿ナラシムル所以ニ在ラス若シ產鹽不足ノ場合ニハ商人ヲシテ買占賣惜ヲ敢テセシメ依テ以テ暴利ヲ貪ラシムルノ虞ナキヲ保セス現ニ專賣施行ノ初年タル明治三十八年度ニ於テハ不幸ニシテ製鹽稀有ノ凶作ナリシヲ以テ其ノ供給圓滿ナラス鹽價俄ニ格外ノ騰貴ヲ來シタルカ爲全國各地ニ於テ專賣法ノ不備ヲ訴フル者アルニ至レリ是ヲ以テ法令上鹽賣買業者ノ販賣價格ヲ制限スルヲ得ルコトニ定メ尙一面ニハ鹽ノ產出少キ地方ニ對シ鹽ノ供給ヲ潤澤ナラシムルト同時ニ商人ノ仲介ヲ俟タスシテ成ルヘク直接需要者ニ鹽ヲ供給シ以テ鹽價ノ不當ナル騰貴ヲ豫防セムトスル目的ノ下ニ鹽ノ回送ヲ行フコトトシ其ノ實行方案ニ付キ各鹽務局長ノ意見ヲ徵シタルニ大要左ノ二種ニ分レ即チ

第一 政府ハ自ラ鹽ノ回送ヲ爲サス政府カ賣渡請求者ノ代理人トナリテ鹽ノ回送ヲ爲サムトスル主義ニシテ換言スレハ鹽ノ回送ニ關シテハ名義上政府ハ鹽ノ荷送人トナラス賣渡請求者ヲ荷送人トナシ賣渡請求者ノ計算ニ於テ政府カ鹽ノ回送ヲ爲サムトスル説ナリ

第二 政府自ラ鹽ノ回送ヲ爲サムトスル主義ニシテ此ノ案ニ依レハ鹽ノ回送賣渡ノ請求アリタルトキハ政府ハ產鹽地ヨリ鹽ヲ需用地ニ運送シテ賣渡請求者ニ鹽ヲ引渡サムトスル

方案ナリ

第一案ハ政府自ラ鹽ノ回送ヲ爲ストキハ鹽ノ運賃倉出料其ノ他回送ニ要スル費用ハ假令鹽ノ賣渡請求者ニ之ヲ負擔セシムルコトトスルモ政府ハ荷送人トナリテ一時此等ノ費用ヲ支辨セサルヘカラス若シ此ノ場合ニ回送費ハ先拂トスルモ尙政府ハ荷送人トナリテ相當ノ義務及責任ノ負擔ヲ免ル能ハサルコトトナリ到底現豫算ニ於テ支辨ノ途ナキヲ以テ寧ろ政府ハ名義上鹽ノ回送ヲ爲スコトヲ避ケムトスルニ在リ然ルニ第二案ハ第一案ノ如クスルトキハ鹽ノ回送賣渡請求者ヲ保護シテ鹽ノ需用供給ヲ適合セシメテ鹽ノ價格ノ騰貴ヲ防クニ足ラス故ニ政府自ラ鹽ノ回送ヲ爲サムトスルニ在リ

今第一案及第二案ヲ比較考覈スルニ第一案モ亦相當ノ理由ナキニ非サルモ

一 第一案ノ如クスレハ鹽ノ賣渡請求者自ラ產鹽地鹽務局所ニ就キ鹽ノ賣渡ヲ受ケ之ヲ運送業者ニ委托シテ自ラ回送スルト毫モ異ナル所ナク唯政府カ賣渡請求者ノ回送事務ニ立チ入リテ運送取扱人ヲ指定又ハ運賃ノ懸合ヲナシ鹽ノ回送ニ厄介ヲ見ルト云フニ過キス結局現在ノ制度ト其ノ根本ニ於テ大ナル差異ナク從テ鹽ノ供給ヲ充分潤澤ナラシムルニ足ラス

二 第一案ノ理由トスルカ如ク政府自ラ鹽ノ回送ヲ爲ストキハ假令結局ハ回送費ヲ鹽ノ回送

賣渡請求者ノ負擔ニ歸セシムルモ政府ハ回送費ヲ豫算中ノ鹽運搬費ヨリ支辨セサルヘカ
ラス然ルニ當年度ノ豫算ニ依レハ鹽ノ運搬費ハ僅々五萬圓餘ニ過キス故ニ第一豫備金ヨ
リ多額ノ鹽運搬費ノ支出ヲ仰カサルヘカラサルニ至ル之ヲ以テ政府自ラ鹽ノ回送ヲ爲ス
トキハ多額ノ回送費ヲ要シテ豫算上出來得ヘカラサルカ如キモ之レ一方面ノ觀察ニシテ
政府ハ假令自ラ鹽ノ回送ヲ爲スモ其ノ回送費ハ賣渡請求者ヨリ之ヲ徵收スルヲ以テ一方
ニ於テ多額ノ運搬費ヲ支出スレハ之ニ從テ他方ニ於テ賣渡請求者ヨリ納入セシムル回送
費ノ收入ハ益々多額ニ上リ實際ノ計算上ニ於テハ政府ハ毫モ回送費ヲ負擔セサルト同一
ノ結果トナル

以上ノ理由ニ依リ第二案ヲ採用シテ政府カ直接ニ鹽ノ回送ヲ爲スノ適當ナルヲ認メ鹽回送ニ關
スル方案ノ大綱ヲ左ノ如ク定メタリ

第一 鹽ノ回送賣渡ノ請求

- 一 鹽ノ回送賣渡ヲ受ケムトスル者ハ鹽ノ產地、等級、數量ヲ記載シタル賣渡請求書ヲ賣渡請
求者所在地鹽務局所ニ提出ス但シ此ノ場合ニ若シ鹽產地鹽務局所ニ賣渡ヲ請求セラレ
タル鹽又ハ其ノ等級、數量存セサルトキハ他產地鹽ヲ以テ之ニ代フヘキヤ否ヤ不足ノ等
級、數量ハ如何ニスヘキヤ等モ賣渡請求書ニ記載セシムル必要アラム
- 二 前項ノ請求アリタルトキハ賣渡請求者所在地鹽務局所ハ產鹽地鹽務局所ニ之ヲ照會ス
- 三 產鹽地鹽務局所ハ前項ノ照會アリタルトキハ賣渡ノ請求ニ應シ得ルヤ否ヤ及其ノ回送
費ヲ計算シテ之ヲ賣渡請求者所在地鹽務局所ニ回答ス但シ鹽ノ回送費ハ鹽回送請負人
ニ申出テシメテ鹽務局之ヲ可否決定ス

四 賣渡請求者所在地鹽務局所ハ前項ノ回答ニ基キテ鹽ノ回送賣渡ヲ請求スルヤ否ヤヲ賣渡請求者ニ問合セタル上鹽賣渡代金及回送費ヲ納入セシメ又ハ相當ノ擔保ヲ提供セシメテ產鹽地鹽務局所ニ鹽ノ回送ヲ請求ス

第二 鹽ノ回送

一 鹽ノ回送請負人

- (イ) 鹽ノ運搬及倉出積込等鹽ノ回送ニ必要ナル行爲ハ一括シテ身元確實ニシテ可成經驗アル者ニ之ヲ請負ハシム
- (ロ) 鹽ノ回送請負人ハ各局毎ニ產鹽地鹽務局長之ヲ指定ス但シ其ノ資格要件ハ大藏大臣之ヲ定ム

二 第一項ノ請求アリタルトキハ產鹽地鹽務局長ハ回送命令書ニ鹽ノ產地等級數量到達期限到着場所及回送費ヲ記載シテ之ヲ回送請負人ニ交付シ鹽ヲ賣渡請求者所在地鹽務局所ニ回送セシム但シ到着場所ハ賣渡請求者所在地鹽務局所ノ指定シタル場所トス

三 鹽引渡後運送先ニテ引取ヲ了スル迄ノ間ニ於テ回送鹽ノ亡失損傷等アリタルトキハ不可抗力ノ外回送請負人ヲシテ一切其ノ責ニ任セシム

四 回送鹽回送命令書ニ記載シタル場所ニ到着シタルトキハ回送請負人ハ之ヲ賣渡請求者所在地鹽務局所ニ直ニ報告ス

第三 回送鹽ノ引渡

一 回送鹽到着シタルトキハ賣渡請求者所在地鹽務局所ハ引渡スヘキ日時及場所ヲ定メテ之ヲ賣渡請求者ニ通知シテ鹽ノ引渡ヲ爲ス

二 擔保ヲ提出セシメテ鹽賣渡代金及回送費ノ納入ヲ延期シタル場合ニ於テ鹽ノ回送賣渡
請求者鹽ヲ引取リタルトキハ直ニ鹽賣渡代金及回送費ヲ納入セシメテ擔保ヲ解除ス

右方案ニ基キ定メタル鹽回送賣渡規則及鹽回送事務取扱手續ハ左ノ如シ
大藏省令第四十號 (明治三十九年九月十五日)

鹽回送賣渡規則

第一條 鹽務局ハ他ノ鹽務局管内ニ於テ產出スル鹽ノ賣渡ヲ受ケムトスル者ノ請求ニ依リ其

ノ指定シタル地ニ鹽產地鹽務局ヨリ鹽ノ回送ヲ受ケテ之ヲ賣渡スヘシ

前項ノ場合ニ於テ鹽ノ回送ニ要スル費用及鹽ノ運搬上通常生スヘキ減耗毀損等ノ損害ハ賣
渡請求者ノ負擔トス

第二條 鹽ノ回送賣渡ハ一回四千斤以上トス但シ鹽務局ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ其ノ
制限ニ據ラサルコトヲ得

第三條 鹽ノ回送賣渡ヲ受ケムトスル者ハ鹽ノ產地等級數量及回送先ヲ記載シタル鹽回送賣
渡請求書ヲ回送先所轄鹽務局ニ提出スヘシ

第四條 前條ノ請求アリタルトキハ鹽務局ハ鹽ノ回送賣渡請求者ニ鹽代金及回送費納入告知
書ヲ交付シ之ヲ納入セシムヘシ

鹽ノ回送賣渡請求者ハ鹽代金及回送費ニ相當スル擔保物ヲ提供シ賣渡請求ノ日ヨリ三箇月
以内又ハ回送鹽引取ノ際マテ其ノ延納ヲ請求スルコトヲ得

常時鹽ノ回送賣渡ヲ請求スル者ハ豫メ擔保ヲ提供シ其ノ擔保物ノ價額ニ達スルマテ鹽代金
及回送費ノ延納ヲ請求スルコトヲ得

第五條 回送鹽到著シタルトキハ鹽務局ハ引渡スヘキ日時及場所ヲ定メテ之ヲ回送賣渡請求

者ニ通知シ鹽ノ引渡ヲ爲スヘシ

第六條 鹽專賣法施行細則第三十六條ハ本令ニ依リ提供スヘキ擔保物ニ之ヲ適用ス

附 則

本令ハ明治三十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

大藏省訓令第四十一號 (明治三十九年九月十五日)

鹽回送賣渡事務取扱手續

第一章 回送賣渡

第一條 本則ニ依リ鹽回送ノ手續ヲ爲スハ各鹽務局間又ハ一鹽務局管内ノ出張所間ニ限ルモ

ノトス

第二條 鹽ノ回送賣渡ヲ請求スル者アルトキハ第一號書式甲ノ鹽回送申請書ヲ提出セシメ同

號書式乙ニ依リ鹽產地鹽務局ニ鹽回送ノ問合ヲ爲スヘシ

第三條 前條ノ問合アリタルトキハ鹽產地鹽務局ハ其ノ要件ヲ鹽回送請負人ニ示シ回送費見

積書ヲ提出セシムヘシ

前項ノ見積ヲ適當ト認メタルトキハ第一號書式丙ノ鹽回送回答書ヲ送付スヘシ

第四條 前條ノ回答アリタルトキハ其ノ旨ヲ回送賣渡請求者ニ通知シ異議ノ有無ヲ申出テシ

ムヘシ

回送賣渡請求者ニ於テ前項ノ通知ニ對シ異議ナキトキハ鹽務局事務取扱手續第十一號書式

ニ準シタル鹽回送賣渡請求書ヲ提出セシメ鹽賣渡代金及回送費ノ納付又ハ擔保ノ提供ヲ爲

サシムヘシ

第五條 回送賣渡請求者鹽賣渡代金及回送費ノ納付又ハ擔保ノ提供ヲ爲シタルトキハ第二號

書式ノ鹽回送請求書ヲ作成シ其ノ乙ヲ鹽產地鹽務局ニ送付スヘシ

第六條 前條ノ請求アリタルトキハ鹽產地鹽務局ハ第十二條ニ依リ鹽回送ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 回送鹽到著シタルトキハ回送賣渡請求者ニ引渡スヘキ日時及場所ヲ通知シテ其ノ引渡ヲ爲スヘシ

第二章 回送

第八條 鹽ノ回送ニ付テハ鹽務局長ハ豫メ請負人ヲ指定シ其ノ回送ヲ要スル都度之ヲ回送請負人ニ引渡スヘシ

第九條 回送請負人ハ左ノ各號ノ資格ヲ有シ且鹽務局長ニ於テ適當ト認ムル保證人ヲ立ツルコトヲ要ス

一 直接國稅貳拾圓以上ヲ納ムル者

二 運送業又ハ鹽ノ販賣業ニ三箇年以上從事シタル者

第十條 鹽務局長ハ回送請負人ヲ指定セムトスルトキハ第三號書式甲ノ鹽回送請負命令書ヲ交付シ同號書式乙ノ請書ヲ提出セシメ其ノ謄本ト共ニ之ヲ大藏省ニ報告スヘシ其ノ請負命令ヲ變更又ハ取消シタルトキ亦同シ

第十一條 回送請負人ニ鹽ヲ引渡ストキ及回送請負人ヨリ鹽ノ引渡ヲ受クルトキハ主任官吏立會スヘシ

第十二條 鹽ノ回送ヲ爲サムトスルトキハ第四號書式甲ノ鹽回送拂出票ヲ作成シ同號書式乙ノ鹽回送命令書ヲ回送請負人ニ交付シテ鹽ノ引渡ヲ爲スヘシ

鹽ヲ回送請負人ニ引渡シタルトキハ請負人ヲシテ同號書式甲ノ領收欄ニ捺印セシメ同號書式丙ノ鹽回送案内書ヲ回送先鹽務局ニ送付スヘシ

第十三條 回送請負人回送鹽到著ノ旨申出タルトキハ回送先鹽務局ハ回送請負人立會ノ上鹽回送案内書ニ照査シテ現品ノ調査ヲ爲シタル後第五號書式甲ノ鹽回送受入票ヲ作成シ其ノ受入ヲ爲スヘシ但シ回送鹽ノ亡失損傷等異狀アリタルトキハ回送請負人ノ證明書ヲ徹スヘシ

回送鹽ノ受入ヲ爲シタルトキハ回送先鹽務局ハ回送請負人ヨリ提出シタル鹽回送命令書領收欄ニ捺印シ且同號書式乙ノ鹽回送受入通知書ヲ回送元鹽務局ニ送付スヘシ

第三章 帳簿及報告

第十四條 鹽務局ハ第六號書式ニ依リ鹽回送整理簿ヲ調製スヘシ

第十五條 回送元鹽務局ハ鹽ヲ回送請負人ニ引渡シタルトキハ鹽回送整理簿ニ之ヲ記入シ鹽回送受入通知書ヲ受領シタルトキハ更ニ同簿ノ整理ヲ爲シ且鹽務局事務取扱手續第五十七條ノ鹽出納簿ニ拂出ノ登記ヲ爲シ回送先鹽務局ニ於テ受入ヲ爲シタル日ヲ摘要欄ニ附記スヘシ

第十六條 回送先鹽務局ハ鹽回送案内書ヲ受領シタルトキハ鹽回送整理簿ニ之ヲ記入シ現品ノ引渡ヲ受ケタルトキハ更ニ同簿ノ整理ヲ爲シ且鹽出納簿ニ受入ノ登記ヲ爲スヘシ

第十七條 回送ニ關スル受拂ハ日計箋ニ依リ鹽務局事務取扱手續第六十三條ノ鹽受拂整理簿ニ之ヲ記入スヘシ但シ其ノ回送鹽ナルコトヲ明記スヘシ

第十八條 左ノ各號ノ書類ニハ各別ニ日計箋ヲ添附スヘシ

一 鹽回送拂出票

二 鹽回送受入票

三 鹽回送賣渡請求書

鹽回送拂出票ノ日計箋ハ鹽回送受入通知書ヲ受領シタル日ヲ以テ回送受回送減及回送亡失トニ區別シテ之ヲ整理スヘシ

鹽回送受入票ノ日計箋ハ現品ノ引渡ヲ受ケタル日ヲ以テ之ヲ整理スヘシ
 鹽回送賣渡請求書ノ日計箋ハ回送鹽ヲ回送賣渡請求者ニ引渡シタル日ヲ以テ之ヲ整理スヘシ

第十九條 鹽務局ハ毎月末及毎年度末ニ於テ鹽回送整理簿ニ依リ第七號書式ノ鹽回送報告表ヲ作成シ翌月十五日限リ之ヲ大藏省ニ報告スヘシ

附 則

第二十條 鹽回送賣渡ニ關シ本則ニ規定ナキモノニ付テハ鹽務局事務取扱手續ニ依ルヘシ

第一號書式

(甲)

第	號	鹽回送申請書	申請年月日
申	請	人	
住	所	氏名調印	
鹽	產	地	
到	達	期	
回	送	先	
申	請	等	
事	項	級	
		包	
		裝	
		數	
		一	
		包	
		裝	
		數	
		全	
		數	
		量	
局	長	調	問
	④	④	合
			年
			月
			日

備考

一本書式乙號發送ノ際甲、丙兩號共同番號ヲ付シ置クモノトス

(乙)

局 長 調 査 回 答 年 月 日	年 月 日	要 摘	事 項	問 合	回 送 先	到 達 期 限	鹽 產 地	第 號	鹽 回 送 問 合 書	等	級	包	裝	數	一	包	裝	數	全	數	量
										等	級	包	裝	數	一	包	裝	數	全	數	量

鹽務局長

(丙)

年 月 日	要 摘	項 事	回 答	回 送 先	到 達 期 限	鹽 產 地	第 號	鹽 回 送 回 答 書	等	級	包	裝	數	一	包	裝	數	全	數	量	百 斤 當	全 賠 償 價 格	百 斤 當	回 送 費	全 回 送 費
									等	級	包	裝	數	一	包	裝	數	全	數	量	百 斤 當	全 賠 償 價 格	百 斤 當	回 送 費	全 回 送 費

鹽務局長宛

鹽務局長

備考

一問合ト異ナリタル回答ヲ爲スノ要アルトキハ便宜問合書各欄餘白ニ回答事項ヲ朱書シ置クモノトス

第二號書式

局	項事求請	等	級	包裝數	一包裝數量	全數量	百斤當 價價格	全賠償價格	百斤當 回送費	全回送費	鹽 產 地	鹽 局 名	鹽 回 送 渡 請 求 書 年 月 日 番 號	鹽 回 送 請 求 書	鹽 回 送 回 答 書	年 月 日 番 號	到 達 期 限	回 送 先

(乙)

第 號	鹽 產 地	到 達 期 限	回 送 先	項事求請	等	級	包裝數	一包裝數量	全數量	百斤當 價價格	全賠償價格	百斤當 回送費	全回送費	第 號	鹽 回 送 請 求 書	年 月 日 番 號

(甲)

第三號書式	鹽回送請負命令書	住所	氏名(又ハ名稱)
-------	----------	----	----------

第八章 回送

鹽務局ニ於テ何某ニ對シ鹽ノ回送ヲ命シタルトキハ何某ハ鹽回送賣渡事務取扱手續其ノ他鹽回送ニ關スル規定ノ外左ノ各項ヲ確守スヘシ

一 鹽回送ノ命令ヲ受ケタルトキハ指定ノ日時及場所ニ受取人ヲ出シテ現品ヲ受取り到達期限内ニ可成速カニ到達場所ニ送達スヘシ但シ到達場所ニ送達スルニ當リ代人ヲシテ代理處辨セシムル場合ニハ其ノ代理店又ハ代理人ヲ鹽務局ニ届出ツヘシ

二 運送中ニ要スル日蓋又ハ雨具等ハ鹽務局ノ指定ニ從ヒ豫メ設備シ運送品ハ充分ノ注意ヲ以テ鄭重ニ取扱フヘシ

三 鹽ノ運送中ハ必ス鹽回送命令書ヲ携帶シ當該官吏ノ要求アルトキハ何時ニテモ之ヲ開示スヘシ

四 鹽ヲ到達場所ニ送達シタルトキハ直ニ現品ト共ニ鹽回送命令書ヲ回送先鹽務局ニ提出スヘシ

五 鹽受取後回送先鹽務局ヘ引渡ヲ了スル迄ノ間ニ於テ生シタル鹽ノ亡失損傷等ノ損害ハ不可抗力ニ因ルモノ又ハ鹽ノ運送ニ因リ通常生スヘキモノノ外第三者ノ故意又ハ過失ニ因ル場合ト雖一切其ノ責ニ任シ鹽務局ノ指圖ニ從ヒ直ニ損害ノ全部ヲ辨償スヘシ若シ何某ニ於テ損害ノ一部又ハ全部ヲ辨償セサルトキハ保證人ハ何時ニテモ本人ニ代リテ之ヲ辨償スヘシ

六 前項ノ場合ニ於テ亡シタル鹽ニ對シテハ何某ハ其ノ回送費ヲ請求スルコトヲ得ス不可抗力ノ場合ニ於テモ亦同シ

七 回送費ハ回送ノ度毎ニ豫メ提出スル回送費見積書以内ノ金額ニテ引受ケ何等ノ事故アルトモ決シテ増額等ヲ請求スルコトヲ得ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 汽車汽船ノ通路ニ故障ヲ生シ又ハ通路破損等ニ依リ迂回ヲ要スルトキ
二 特ニ速達ヲ要スルトキ
八 何某ニ於テ鹽回送請負命令ノ取消ヲ申請セムトスルトキハ二箇月前ニ申出テ鹽務局ノ認可ヲ受クヘシ
九 鹽務局ニ於テ二箇月以前ニ何某ニ對シテ請負命令取消ノ豫告ヲ爲シタルトキ又ハ何某カ本命令ニ違背シ又ハ不正不當ノ行爲アリト認ムルトキハ鹽務局ハ本命令ヲ取消スコトアルヘシ

年 月 日

鹽 務 局 長 團

(乙)

鹽 回 送 請 負 命 令 請 書

鹽回送請負命令書

以下命令書本文同様

右謹テ御請候也

年 月 日

鹽 務 局 長 殿

請 負 人	住 所	名
保 證 人	住 所	名
		氏 名

第四號書式

(甲)

局 要 摘	鹽 回 送 受 入 通 知 書 年 月 日 番 號	等 級	到 達 場 所	到 達 期 限	年 月 日 番 號	鹽 回 送 請 求 書 年 月 日 番 號	回 送 先 局	第 號	鹽 回 送 拂 出 票	明 治 年 月 日	回 送 請 負 人 住 所 氏 名	引 渡 年 月 日 及 領 收 印	引 渡 場 所	百 斤 當 賠 償 價 格	全 賠 償 價 格	回 百 送 斤 費 當	全 回 送 費	調 查 印	鑑 定 印	秤 量 印	鹽 會 計 官 吏 印	鹽 拂 出 命 令	明 治 何 年 何 月 何 日 鹽 出 納 簿 登 記 濟	第 號	鹽 回 送 命 令 書	何 々 鹽 務 局 圖
																						包 裝 數	一 包 裝 數 量	全 數 量	引 渡 年 月 日	引 渡 場 所

(乙)

局 要 摘	回 送 先 局 領 收 證 年 月 日 及	年 月 日	領 收 (局 印)	第 號	鹽 回 送 命 令 書	回 送 請 負 人 住 所 氏 名	引 渡 年 月 日	引 渡 場 所	百 斤 當 賠 償 價 格	全 賠 償 價 格	回 百 送 斤 費 當	全 回 送 費	何 々 鹽 務 局 圖

第五號書式

(丙)

(甲)

等	鹽回送案內番號	回送元局	住所氏名	回送請負人名	第 號	年 月 日	要 摘	等	到 達 場 所	到 達 期 限	鹽回送請求番號	第 號
					鹽 務 局 長 宛							鹽 務 局 長 宛
					明治何年何月何日							

(乙)

局長 印	要 摘		
	鹽受入命令		
明治何年何月何日鹽出納簿登記濟			
鹽會計官吏 印	秤	鑑	調
	量	定	査
	印	印	印

第 號	鹽回送案内書			領收年月日	領收場所	等 級	要 摘
	鹽回送受入通知書						
包 裝 數		一包裝數量	全 數 量	回 送 請		百斤當	年 月 日
所 負 人 住 名		全賠償價格	同百斤當	同 送 費		全回送費	
鹽務局鹽會計官吏							
官 氏 名 宛							

第八章 回送

第六號書式 (鹽回送整理簿)

受 入 部

高 賠償 價格	受 入		高		回 送 減 耗 高		回 送 費	受 入 未 濟 高		備 考
	受 年 月 日	入 日	數 量	賠 價 格	數 量	賠 價 格		數 量	賠 價 格	
円			斤	円	斤	円	円	斤	円	
52,000								4,000	52,000	
	10-12		3,500	45,500	500	6,500	8,000	0	0	

部

第八章 回送

回送減耗高		回送費	回送先局		備考	年月日	回送案内書 又ハ回送受 入票番號	等 級	案内	
數量	賠償價格		數量	賠償價格					回送元發 送年月日	數量
斤	円	円	斤	円					斤	
			10,000	110,000		10-10	回送案内書 第一號	2	10-5	4,000
			15,000	165,000		11-12	回送受入票 第一號	2		
		20,000	5,000	50,000						
500	5,000	10,000	0	0						

拂 出

備考

年月日	拂出票又ハ 回送受入通 知書番號	等級	發送高			回送先局受入濟高		
			發 年 月 日	送 日	數 量 斤 賠 償 價 格 円	受 年 月 日	入 日	數 量 斤 賠 償 價 格 円
10- 1	拂 出 票 第 一 號	4	10- 1		10,000 110,000			
,,- 5	拂 出 票 第 三 號	5	,,- 5		5,000 5,000			
,,- 1	回 送 受 入 通 知 書 第 二 號	4				10- 3	10,000 110,000	
,,-10	回 送 受 入 通 知 書 第 三 號	5				,,- 8	4,500 45,000	

一 本簿ハ鹽務局毎ニ口座ヲ設ケ末尾ニ合計ヲ付スルモノトス
二 回送中ニ亡失シタル鹽ノ數量ハ回送減耗高欄ニ記入シ且其ノ旨ヲ備考ニ記入スルモノトス

第七號書式 (鹽回送報告表)

摘要	發送高		受入高		回送減耗高		回送費	受入未濟高		備考
	數量	賠償價格	數量	賠償價格	數量	賠償價格		數量	賠償價格	
	斤	円	斤	円	斤	円	円	斤	円	
<u>受入ノ部</u>										
何鹽務局ヨリ										
何 等 鹽										
何 等 鹽										
何鹽務局ヨリ										
何 等 鹽										
何 等 鹽										
計										
<u>拂出ノ部</u>										
何鹽務局へ										
何 等 鹽										
何 等 鹽										
計										

第八章 回送

大藏省主稅局長通牒往第二三七五號（明治四十年二月十九日）

鹽回送賣渡規則ニ依リ賣渡請求ヲ受ケタル鹽ノ回送中回送請負人カ亡失損傷等ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ損害ヲ辨償セシムル金額ノ標準ハ賠償價格ニ對シ百斤ニ付金一圓四十八錢ヲ加算シタル賣渡價格ニ依ルコトトシ鹽回送請負命令ノ節相當契約セラレル様致度此段及通牒候也

右ノ如ク明治三十九年十月以來買受人ノ請求ニ依リ買受人ノ費用ヲ以テ其ノ希望スル地ニ鹽回送ノ途ヲ開キタルモ官費ヲ以テ鹽ヲ回送シタルハ同三十九年八月鹿兒島鹽務局管内ノ沖繩產鹽ヲ始メ加治水地方ノ產鹽供給過超ナリシヲ以テ宮崎地方へ回送シタルヲ嚆矢トシ尋テ同年十月撫養鹽務局直轄產鹽ノ收納上倉間ノ爲已ムヲ得ス之ヲ函館ニ回送シタルノ外同年度内ニ於テハ官費ヲ以テ鹽ノ回送ヲ行ハサリシモ本邦ニ於ケル鹽ノ主產地ハ一定ノ區域ニ限ラレ且其ノ製鹽季モ亦一定セルヲ以テ最盛季間主產地地方ニ於テハ收納鹽ノ停滯ヲ來シ又其ノ遠隔セル地方ニ在リテハ供給ノ不足ヲ告グルコトアルニ依リ明治四十年度ニ於テハ隨時主產地ヨリ主要消費地ニ對シ政府ノ費用ヲ以テ豫メ鹽ヲ回送シ以テ其ノ產出少キ地方ノ供給ヲ潤澤ナラシムルト同時ニ主產地ニ於ケル鹽收納ニ支障ナカラシメンコトヲ期セリ左ニ官費回送鹽販賣倉庫設置地及回送鹽取扱方心得ヲ掲記スヘシ

大藏省告示第二百十號（明治四十年七月五日）

官費回送鹽販賣倉庫ヲ左ノ各地ニ設置シ所轄鹽務局又ハ鹽務局出張所ヲシテ他局ヨリ回送シタル鹽ノ賣渡ヲ取扱ハシム

北海道函館區、北海道小樽區、新瀉縣中頸城郡直江津町、宮城縣仙臺市、秋田縣南秋田郡土崎町、鳥取縣西伯郡境町

大藏大臣内訓往第一〇七九九號（明治四十年七月五日）

鹽ノ產出少キ地方ニ對シテ鹽ノ供給ヲ潤澤ナラシムルト同時ニ主產地タル鹽務局ノ鹽收納ニ

支障ナカラシムル爲爾今官費ヲ以テ鹽ノ回送販賣ヲ爲サシムヘキニ付其ノ取扱方左ノ通心得
ヘシ

官費回送鹽取扱方心得

第一條 官費回送鹽販賣倉庫設置地及之ニ對シテ鹽ヲ回送スヘキ鹽務局ヲ左ノ通相定ム

赤穂鹽務局 函館直江津、仙臺、土崎

味野鹽務局 函館、仙臺、土崎

尾道鹽務局 函館、小樽、直江津、土崎

三田尻鹽務局 函館、小樽、直江津、土崎、境

阪出鹽務局 函館、小樽、直江津

撫養鹽務局 函館、直江津、仙臺、土崎

熊本鹽務局 境

第二條 官費回送鹽ノ販賣事務ハ倉庫所在地所轄鹽務局又ハ鹽務局出張所ニ於テ之ヲ處理ス
ルモノトス

第三條 回送先鹽務局所ニ於テハ最盛期間自六月至九月ハ五日毎其ノ他ハ十日毎ニ其ノ倉庫現在鹽

數量及其ノ收容餘力ヲ回送元關係鹽務局及主稅局ニ通報スヘシ

第四條 回送元鹽務局ハ常時本局直轄ハ勿論管内出張所ノ鹽出納ノ狀況ヲ查察シ倉庫ノ虞ア

リト認ムルトキハ豫メ適當ノ時期ニ其ノ收納鹽ヲ回送先關係鹽務局所ニ回送スヘシ但シ回
送ニ先チ郵便又ハ電報ニテ其ノ回送數量及到着時期ヲ豫報シ支障ノ有無ヲ確ムルヲ要ス

第五條 回送ニ關シテハ回送元鹽務局所毎ニ又ハ便宜數出張所毎ニ回送請負人ヲ設クヘシ但シ回送請負人ハ已ニ明治三十九年九月大藏省令第四十號鹽回送賣渡規則ニ依ルモノアルヲ以テ之ヲ指定スルモ妨ケナシト雖モ右選定方ニ付テハ爾今規定ノ資格ヲ有スル者中ヨリ競爭入札セシムヘシ

第六條 回送請負人ノ回送先ハ船便ニ在リテハ倉庫所在港灣内ニ於テ船渡シ鐵道便ニ在リテハ停車場内貨車渡トシ其ノ荷揚及倉入手數ハ回送先鹽務局所ニ於テ之ヲ取扱フヘシ

第七條 回送先鹽務局所ニ於テハ回送鹽ノ荷揚及倉入等手數處辨ノ爲確實ナル請負人ヲ定メ置クヘシ

第八條 回送又ハ荷揚倉入ノ請負金額ハ常時之ヲ一定シ特別ノ事由ナキ限りハ請負人ヲシテ時ト場合トニ依リ變更セシメサルヲ要ス

第九條 鹽ノ回送手續及帳簿整理等ニ關シテハ明治三十九年九月大藏省訓令第四十一號鹽回送賣渡事務取扱手續(第十一條乃至第二十條)ニ準據スヘシ

第十條 回送先鹽務局所ニ於ケル鹽ノ賣渡價格ハ回送元鹽務局ノ鹽賠償價格ニ專賣益金ヲ加ヘタルモノトシ此ノ他回送費用トシテ回送及荷揚倉入實費ヲ徴收スヘシ但シ其ノ賣渡價格及回送費用ヲ加ヘタルモノカ市場相場ヨリ著シク低價ナル爲所在地鹽商ノ適當ナル利益ヲ妨ケ又ハ高價ナル爲到底賣行ノ途ナキトキハ其事由竝適當ナル價格ヲ見積リテ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ賣渡價格及回送費用ハ回送先鹽務局所門前ニ揭示スルハ勿論時々新聞ニモ之ヲ登載スヘシ

尋テ又需給上ノ利便ヲ圖リ販賣倉庫設置地ヲ増加シ回送鹽取扱方心得ニ改正ヲ加ヘタリ

大藏省告示第四百二十二號 (明治四十年八月二十三日)

本年七月大藏省告示第二百二十號中官費回送鹽販賣倉庫設置地中左ノ各地ヲ追加ス

東京府東京市、大阪府大阪市、福島縣安積郡郡山町、福岡縣門司市、熊本縣熊本市

大藏大臣内訓往第一三〇五一號 (明治四十年八月二十三日)

官費回送鹽取扱方心得第一條ヲ左ノ通改正ス

第一條 官費回送鹽販賣倉庫設置地及之ニ對シテ鹽ヲ回送スヘキ鹽務局ヲ左ノ通相定ム

長崎鹽務局 熊本

金澤鹽務局 直江津、土崎

赤穂鹽務局 函館、東京、大阪、直江津、仙臺、郡山、土崎

味野鹽務局 函館、東京、大阪、仙臺、土崎、境門司

尾道鹽務局 函館、小樽、東京、直江津、土崎

三田尻鹽務局 函館、小樽、直江津、土崎、境門司

阪出鹽務局 函館、小樽、東京、大阪、直江津、門司

撫養鹽務局 函館、東京、大阪、直江津、仙臺、郡山、土崎

熊本鹽務局 境門司、熊本

鹿兒島鹽務局 熊本

備考

一大川町ニ熊本ノ分設倉庫ヲ置キ鹿兒島鹽ノ回送販賣ヲ便利トスヘキ旨熊本鹽務局長申出ニ對シ八月九日付承認ヲ與ヘタリ

右ノ如ク全國樞要ノ地ニ貯鹽庫ヲ設置シ政府ノ費用ヲ以テ鹽ヲ回送シ置キ必要ニ應シテ隨時之
カ賣渡ノ途ヲ開キタルニ鹽商人ハ之ニ關シテ反對運動ヲ爲ス者アルヲ生シ殊ニ東京鹽問屋組合

員ヲ始メ直江津商業會議所及土崎鹽商人等ヨリ營業上ノ打撃ニ對スル相當救濟方ヲ出願シタルモ要ハ政府ノ賣下價格ハ一般需要者ト問屋業者トニ適當ノ差額ヲ設ケラレルカ又ハ市場價格ヲ標準トシテ相當高價ニ定ラメレタシト云フニ歸著セリ然レトモ當時ニ於ケル政府直賣ノ趣旨ハ固ヨリ鹽商人ト競争シテ其ノ營業ヲ妨ケムトスルモノニアラス唯鹽商人ノ販賣價格カ適當ナラサルカ又ハ其ノ賣捌方不十分等ノ爲當該地方ニ於ケル鹽ノ供給不足ト認ムル場合ニ消費者ノ蒙ル不便不利ヲ除カムトスルニ過キササルヲ以テ各地ノ鹽賣下方ニ關シテモ此ノ方針ニ依リ實行シタレハ爾來格別營業者ノ不平ヲ訴フルモノモナク官費回送ノ爲一般市場價格ハ概シテ低落シ鹽ノ市場相場ハ賣下價格ニ牽制セラレルニ至リ一面ニハ產地非產地ヲ通シ大ニ需給ノ圓滿ヲ圖ルコトヲ得タリ

明治四十一年度ニ於ケル鹽ノ回送ハ四月ヨリ六月迄ハ前年度ト同シク請求回送ト官費回送ト二者共ニ之ヲ行ヒタリシカ七月ニ至リ販賣制度ヲ改正シ前者即チ請求回送ハ之ヲ廢止シタリ

大藏省令第二十三號 (明治四十一年四月二十九日)

明治三十九年九月大藏省令第四十號ハ明治四十一年六月三十日限り之ヲ廢止ス

右廢止スルト同時ニ一方ニ於テハ鹽販賣官署ヲ増設シ之ニ對シテ後者即チ官費回送ノミヲ行フコトト爲セリ而シテ右改正販賣制度ニ基キ鹽回送ニ關スル方案ノ大綱ヲ左ノ如ク定メタリ

一 鹽ノ分配回送ハ總テ本局ニ於テ命令スルコト

右ニ關シテハ本局ハ豫メ一方ニ於テハ販賣所ニ對シテ一定期間毎ニ其ノ區域内ニ於ケル需要數量等級、產地包裝種類等ヲ本局ニ報告セシメ一方ニ於テハ收納所ニ對シ同期間ニ於ケル收納鹽ノ見込數量、等級包裝種類等ヲ報告セシメ此兩者ヲ對照シテ回送計畫ヲ立テ之

- 二 依リテ其ノ回送命令ヲ發スルコト
- 二 鹽ノ分配ニ關シテハ各收納所又ハ出張所ニ於テ收納シタル鹽ハ其ノ地方ノ嗜好ニ適應スル限リ成ルヘク其ノ所屬販賣區域内ニ賣下クルヲ方針トス而シテ其ノ區域内ノ需要ニ超過シタル數量ヲ他ノ販賣所ニ回送スルニ付テハ本局ハ成ルヘク需要地ニ於ケル嗜好ノ習慣ニ適應スル様其ノ分配ヲ注意シ且地理上ノ關係等ヲモ參酌シ豫メ其ノ回送先ヲ概定シ置クモノトス
- 三 回送請負人ハ各收納所毎ニ從來ノ經驗者中ヨリ指命シテ競争入札ニ付スルコト(或ハ從來ノ回送業者ヲ合同セシムルモ政策上可ナラムカ)
- 四 荷揚倉入手數ハ回送請負以外トシ各地毎ニ其ノ地方ノ者ニ請負ハシムルコト
- 五 回收スヘキ回送費ハ關係近接收納所ヨリノ平均回送費ニ依ルコト
- 六 回送費中ニハ船車ヨリノ荷揚倉入費ヲ包含セシムルコト但シ販賣倉庫賃借料等ハ之ヲ包含セス
- 七 鹽ハ一切保險ニ附セサルコト
- 八 回送鹽ノ不可抗力ニ依ル亡失毀損ハ回送請負人ニ責任ナク其ノ他ノ原因ニ依ル亡失ニシテ亡失事實ノ明ニ認めラルル場合ニハ回送請負人ヲシテ賠償價格ニ依リ辨償セシメ事實ノ疑ハシキ場合ニハ賣渡價格ヲ辨償セシムルコト毀損ハ程度ニ依ル從テ回送請負契約ニハ保證人ヲ必要トスルコト
- 九 鹽ノ回送ハ大體船便(成ヘク汽船)ニ依ラシムルコトトシ已ムヲ得サル地方ニ限リ汽車便ニ依ラシムルコト
- 十 再回送ハ之ヲ爲ササルコト已ムヲ得サル場合ハ此ノ限リニ在ラス

十一 同一賠償價格區域内ノ回送ハ已ムヲ得サル場合ノ外之ヲ行ハサルコト此ノ回送ハ收納所ヲシテ爲サシメ回送請負人等ハ收納所限リ指定スルコト又此ノ鹽ヲ賣下クルトキハ回送費ヲ徴收セサルコト

右方案ニ基キ定メタル鹽回送規程及之ニ關シ注意シタル事項ハ左ノ如シ

專賣局長官達丁第二四八一號 (明治四十一年五月二十一日)

鹽回送規程左ノ通相定メ明治四十一年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

鹽回送規程

第一條 鹽ノ回送ハ左ノ關係官署間ニ限リ之ヲ行フモノトス但シ本局ニ於テ鹽ノ需用供給上

必要ト認メタルトキハ隨時之ヲ變更スルコトアルヘシ

回送先販賣所 又ハ藏置所	發送元 收納所	回送先販賣所 又ハ藏置所	發送元 收納所
東 京	赤穂、味野、尾道、阪出、撫養	松 本	赤穂、尾道
仙 臺	赤穂、味野、撫養	名 古 屋	赤穂、味野、尾道、撫養
郡 山	赤穂、味野、撫養	伏 木	赤穂、味野、尾道、三田尻
青 森	三田尻、阪出	敦 賀	赤穂、味野、尾道、三田尻
函 館	味野、尾道、三田尻、阪出、撫養	大 阪	赤穂、味野、阪出、撫養
小 樽	尾道、三田尻、阪出、撫養	境 阪	尾道、三田尻
土 崎	味野、尾道、三田尻	門 司	味野、三田尻、阪出
直 津	赤穂、尾道、三田尻、阪出	熊 本	味野、三田尻
新 潟	尾道、三田尻、阪出	細 島	尾道、阪出、熊本

第二條 回送鹽販賣官署ハ其ノ所ニ於テ賣下クヘキ回送鹽ノ產地ヲ門前ニ揭示シ又ハ便宜ノ

方法ヲ以テ之ヲ元賣捌人ニ周知セシムヘシ

第三條 鹽ノ回送ハ本局ニ於テ之ヲ命令スヘシ但シ收納所及其ノ出張所、藏置所間相互ノ融通

移送ハ收納所長限リ之ヲ施行スルコトヲ得

收納所及其ノ出張所ノ收納鹽賣行不良ノ爲其ノ收納所管内ニ於ケル販賣所又ハ藏置所ニ回送シテ賣渡スノ必要ヲ認メタルトキハ本局ニ稟申スヘシ

第四條 第一條ノ回送先販賣所長又ハ藏置所長ハ第一號書式ノ鹽需要高表ヲ發送元收納所長ハ第二號書式ノ鹽回送高表ヲ毎月五日迄ニ本局ニ提出スヘシ

第五條 鹽回送命令ヲ受ケタルトキハ發送元收納所ハ命令後七日以内ニ第三號書式ニ依リ鹽回送計畫表ヲ本局ニ提出シ同時ニ關係部分ニ對スル謄本ヲ回送先販賣所又ハ藏置所ニ送付スヘシ其ノ計畫ヲ變更シタルトキ亦同シ但シ第三條第一項但書ノ場合又ハ鹽回送命令ニ對シ命令額全部ヲ即時拂出ストキハ計畫表ノ調製ヲ要セス

第六條 鹽ノ回送又ハ荷揚倉入ニ付テハ收納所長又ハ販賣所長ハ豫メ請負人ヲ指定シ收納所長ハ其ノ回送ヲ要スル都度之ヲ運送請負人ニ引渡シ販賣所長ハ鹽ノ到著次第荷揚請負人ヲシテ荷揚倉入ヲ爲サシムヘシ

第七條 鹽運送請負人又ハ鹽荷揚請負人ハ左ノ各號ノ資格ヲ有スル者ヨリ指名競争ニ依リ第四號書式ノ見積書ヲ徴シ其ノ見積金額低クシテ到達期間ノ短キ者ヲ以テ之ヲ定メ且收納所長又ハ販賣所長ニ於テ適當ト認ムル保證人ヲ立テシムヘシ但シ本局ノ承認ヲ得タルトキハ指名競争ニ依ラサルコトヲ得

一 直接國稅貳拾圓以上ヲ納ムル者

二 運送業又ハ鹽販賣業ニ三箇年以上從事シ鹽ノ運送ニ經驗アル者

運送及荷揚請負契約ハ毎年度之ヲ更新スルコトヲ要ス

第八條 收納所長又ハ販賣所長ハ運送請負人又ハ荷揚請負人ヲ指定シタルトキハ第五號書式

ノ鹽運送請負書又ハ鹽荷揚請負書ヲ提出セシムヘシ
 前項ノ指定ヲ了シタルトキハ其ノ見積書ノ謄本ニ契約期間及保證人ノ住所姓名ヲ附記シ第
 六號書式ノ調査表ヲ添ヘ之ヲ本局ニ報告スヘシ其ノ請負契約ヲ變更又ハ取消シタルトキ亦
 同シ

第九條 回送鹽ヲ運送請負人ニ引渡ストキハ主任官吏立會ノ上請負人又ハ代理人ヲシテ現品
 ヲ調査セシメ引渡ヲ了シタルトキハ第七號書式ノ帳簿ニ領收印ヲ徴スヘシ

第十條 回送鹽ヲ運送請負人ニ引渡シタルトキハ第八號書式ノ回送案内書ヲ回送先販賣所又
 ハ藏置所ニ送付シ同時ニ第九號書式ノ報告書ヲ本局ニ提出スヘシ

第十一條 發送元收納所ニ於テ鹽ノ收納貯藏ノ不足其ノ他ノ事由ニ依リ回送不能額ヲ生シタ
 ルトキハ直ニ其ノ產地等級別數量包裝ノ種類箇數及不能ノ事由ヲ回送先販賣所又ハ藏置所
 ニ通報スルト同時ニ本局ニ報告スヘシ

前項ノ不能額ハ回送命令中ヨリ減額セラレタルモノトス

第十二條 回送鹽ヲ領收シタルトキハ第十號書式ノ領收證ヲ發送元收納所ニ送付スヘシ

第十三條 回送鹽到達豫定期日ヲ過キ到達シタルトキハ第十一號書式ノ通知書ヲ發送元收納
 所ニ送付スヘシ

發送元收納所ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ正當ノ事由ナシト認メタルト
 キハ運送請負人ヨリ懈怠金徴收ノ手續ヲ爲スヘシ

第十四條 回送延著ニ關スル處分ヲ了シタルトキハ其ノ事蹟ヲ第十二號書式ニ依リ毎年度二

回(自四月至九月分ハ十月十五日)本局ニ報告スヘシ但シ處分未濟ノモノ又ハ報告スヘキ事項
 ナキトキハ其ノ旨ヲ報告スヘシ

第十五條 回送鹽到著シタルトキハ運送請負人又ハ其ノ代理人ヲ立會セシメ亡失シタルモノヲ除クノ外總テ受入ノ手續ヲ了シ亡失損傷シタルモノニ對シテハ第十三號書式ノ調査書ヲ作製シ發送元收納所ニ送付スヘシ

前項ニ依リ調査書ヲ發送元收納所ニ送付シタルトキハ本局ニ其ノ要領ヲ報告スヘシ

第十六條 發送元收納所ニ於テモ亡失損傷ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ亡失シタルモノニ對シテハ更正案内書ヲ回送先販賣所又ハ藏置所ニ送付シ尙亡失損傷ノ責任ノ運送請負人ニ歸スヘキモノハ運送請負人ヲシテ賠償セシメタル上第十三號書式ニ依リ又運送請負人ノ責ニ歸スヘカラサルモノト認メタルモノハ關係書類ヲ添へ本局ニ報告スヘシ

第十七條 損害賠償處分ヲ結了シタルトキハ損害要償額調書ノ謄本ニ其ノ賠償濟年月日ヲ記入シ回送先販賣所又ハ藏置所ニ通知スヘシ但シ亡失シタルモノニ對シテハ通知スルヲ要セス

第一號書式

鹽 需 要 高 表
何月何日提出
何販賣所長(藏置所長)

產地	等級	包裝種類	前月		本月		計	本月中		翌月中		備考
			末高	回送受高	中高	回送受高		中見込高	末見込高	中見込高	回送所要高	
	一等	八十斤仄										
	二等	四十斤仄										

用紙 縦五寸五分 横八寸 餘白ヲ存スヘシ
一 寸ノ左側ニ

備考

一 本月中回送受高欄ニハ第五條ニ依リ發送元收納所ヨリ通知ヲ受ケタル回送計數ヲ記載スヘシ但シ其ノ數量中前月末迄ニ到着シタ

ルモノハ本欄中ヨリ之ヲ控除シ前月末現在高欄ニ合算スルモノトス
 二 本月中賣渡見込高又ハ翌月中賣渡見込高欄ニハ鹽賣捌規則第十二條ニ依リ前々月末日又ハ前月末日迄ニ鹽元賣捌人ヨリ提出スヘキ鹽買受額見込書ニ依リ之ヲ記載スヘシ但シ之ヲ更正スルノ必要アリト認メタルトキハ最モ事實ニ近シト認定スル最近ノ見込ニ依リ之ヲ記入スルコトヲ得

第二號書式

鹽 回 送 高 表
 何月何日提出 何收納所長

收納所又ハ出張所名	等級	包裝種類	前月現在	本月中賣渡見込高	計	本月中賣渡見込高	差引回送高	備考
	一 等	八十斤呔						
	二 等	四十斤呔						

備考

- 一 本月中賣渡見込高欄ニハ鹽賣捌規則第十二條ニ依リ前々月末日迄ニ鹽元賣捌人ヨリ提出スヘキ鹽買受額見込書ニ依リ之ヲ記載スヘシ但シ之ヲ更正スルノ必要アリト認メタルトキハ最モ事實ニ近シト認定スル最近ノ見込ニ依リ之ヲ記入スルコトヲ得
- 二 本月中賣渡見込高中其ノ所管内ノ消費用トシテ賣渡スヘキ見込高ヲ等級包裝別ニ備考欄ニ記入スヘシ

第三號書式

鹽 回 送 計 畫 表
 回送命令第何號ニ對スル分 何月何日提出 何收納所長

發送元	回送先	等級	包裝種類	命令數量	拂出數量	拂出月日	予定月日	備考
		一 等	八十斤呔					
		二 等	四十斤呔					

用紙 縦五寸五分 横八寸五分 綴代トシテ左
 側ニ一寸ノ餘白ヲ存スヘシ

備考

- 一 本表ハ命令番號ノ異ナル毎ニ調製スヘシ
- 二 拂出見込數量ハ回送先ノ異ナル毎ニ小計ヲ付スヘシ

第四號書式ノ一

鹽運賃見積書

發送元 回送先	直接費		間接費		手數料運賃計	到達豫 定期間	經路	
	汽車路	陸路	出積	込積			替	日何線 何哩
	哩	里丁	毛	毛	毛		何地何地間 何地何地間 何地何地間	何地何地間 何地何地間 何地何地間
							坂路何里 坦路何里	和船 汽船

右見積候也

年月日

營業場所所在地

氏名(何會社長又ハ代表者)印

何收納所長宛

備考

- 一 本見積價格ハ鹽百斤當トス尙ホ其ノ價格ハ毎年度自四月至九月及自十月至三月ノ二期ニ區分契約スヘシ
- 二 陸路ノミノ箇所ニ於ケル中繼費ハ直接費陸路ノ欄ニ合算スヘシ
- 三 鐵道廳ヨリ汽車賃割引ノ承認ヲ得タルモノニアリテハ其ノ割引額ヲ備考ニ記載スヘシ

第四號書式ノ二

鹽荷揚倉入費見積書

荷揚港又ハ 荷卸驛名	荷揚(卸)賃	届ケ倉入賃	荷揚倉入費計	河海路又ハ 陸路
	毛	毛	毛	何里 何里 丁

右見積候也

年 月 日

營業場所所在地

氏名(何會社長又ハ代表者)印

何販賣所長宛

備考

一本見積價格ハ鹽百斤當トス尙ホ其ノ價格ハ毎年度自四月至九月及自十月至三月ノ二期ニ區分契約スヘシ

第五號書式

鹽運送(鹽荷揚)請負書

今般御所ヨリ何所外何箇所ニ回送セラル、鹽ノ運送方何年何月何日ヨリ何年何月何日迄拙者(弊社)へ御下命相成候ニ付テハ左ノ各項確守履行可致候

一 運賃ハ別紙見積書記載ノ金額ヲ以テ豫定到達期日以内ニ回送先ニ引渡可申候若シ回送先ノ御都合ニ依リ販賣所(藏置所)所在地外ノ市町村ニ荷卸スル

場合ニ於テ運賃及到達期間ニ増減ヲ生スル見込アルトキハ更ニ適當ナル見積可致候

二 回送鹽引取方御通知ノ節ハ何時ニテモ現品ヲ受取可申其ノ受授ニ付代理處辨セシムルトキハ其ノ代理店又ハ代理人ヲ御届可致候

三 運送ニ要スル運送具及假貯藏場等ハ御指定ニ從ヒ豫メ設備シ運送器二十分ノ注意ヲ加ヘ鄭重ニ取扱可致候

四 鹽受取後回送先販賣所(藏置所)へ引渡ヲ了スル迄ノ間ニ於テ鹽ノ亡失損傷等有之候節ハ不可抗力ニ因ルモノ又ハ御所ニ於テ鹽ノ運送ニ因リ通常生ス

ヘキ減耗ナリト認メラル、數量ヲ除キ其ノ他原因ノ如何ヲ問ハス拙者(弊社)ニ於テ一切其ノ責ニ任シ左記ノ通御指定ノ期日迄ニ辨償可致候若シ本人

ニ於テ期日迄ニ辨償セサルトキハ保證人ニ於テ直ニ辨償可致候

一 御所ニ於テ亡失ノ事實ヲ確認セラレタル場合ハ各賠償價格

二 亡失ノ事實不明ナル場合ハ各賠償價格二百斤ニ付金一圓四十八錢ヲ加算シタルモノ

三 損傷ノ場合ハ各賠償價格ヨリ損傷鹽ノ品位及包裝ニ相當スル各價格ヲ控除シタル金額

五 前項ノ場合ニ於ケル運賃ハ御所ニ於テ鹽ノ運送ニ因リ通常生スヘキ減耗ナリト認メラル、數量ヲ除キ亡失鹽ニ對シテハ一切請求致間敷候不可抗力ニ

因レル場合モ同様タルヘキコト

六 運送請負中運賃ノ割増ヲ請求スルハ左ノ場合ニ限り其ノ時々見積書ヲ差出可申其ノ他ハ何等ノ事故有之トモ決シテ割増請求不致候

一 汽車、汽船ノ通路又ハ道路破損等ニ因リ故障ヲ生シタルトキ

二 見積書ニ記載スル到達期日以内ニ特ニ速達ヲ要スルトキ

七 道路新設、汽車汽船路開通等ニ依リ運賃ニ減額ヲ生スヘキ場合ハ直ニ見積金額ヲ相當訂正可致候

八 運賃請求ノ場合ニ於テ請求書ノ總金額ニ厘位ヲ生シタルトキハ切捨請求可致候

九 運送請負ヲ廢止セムトスルトキハ少クモ六十日以前ニ申出御認可ヲ可受候

十 運送上正當ノ事由ナクシテ延着シタルトキハ其ノ到達期日カ休日ナルト否トニ拘ハラス其ノ翌日ヨリ起算シ一日毎ニ請負金額ノ千分ノ五ヲ懈怠金ト

シテ御命令ノ期日ニ納付可致候

備考

一 契約官署ニ於テハ荷揚倉入費算出ノ根本ニ廻リ慎重緻密ニ調査シ之カ附記ヲ要ス

第七號書式

回送鹽引渡簿

回送先	等級	數量		引渡月日	領收印	到達豫定期日	到達月日	延著日數	備考
		包裝筒數	量						
一	等								案內書號

用紙 縦五寸五分 横六寸五分

備考

- 一 到達月日及延著日數ハ受入官署ノ領收書ニ照ラシ記入スヘシ
- 二 明治四十一年三月丙第二二三六號達專賣局作業議取出扱手續第九條第二項ニ依リ調製スル回送費豫算執行決議簿ヲ以テ供用シ得ヘキ場
合ニ於テハ本簿ノ調製ヲ省略スルコトヲ得

第八號書式

鹽回送案内書

何販賣所長(藏置所長)宛 何收納所(出張所)物品會計官吏印

命令番號	發送元	發送月日	到達豫定期日	回送諸費	運送請負人	備考
	等	包裝種類	全數量	全賠償價格	氏名	
	一	八十斤 叭	斤	圓		
	二	四十斤 叭	斤	圓		

用紙 縦五寸五分 横六寸五分 綴代
シテ左側二寸ノ餘白ヲ
存ス

備考

- 一 到達豫定期日ハ現品ヲ運送請負人ニ引渡シタル翌日ヨリ計算記載スヘシ
- 二 回送諸費ノ内運搬費、其他諸費ハ之ヲ區分シ備考欄内ニ記載スヘシ

三 一命令番號ノ一受入所全部ノ拂出ヲ了シタルトキハ最終回送案内書ノ備考欄ニ完了ト記載スヘシ

第九號書式

發送元	回送先	回送元		回送先		命送		命送		命送		命送		命送		命送		命送	
		會番	等級	包種	裝類	包種	裝類	包種	裝類	包種	裝類	包種	裝類	包種	裝類	包種	裝類	包種	裝類
		一	等	八斤四	十叭														
		二	等	十叭	十叭														

備考

- 一 本書ハ拂出ノ時々報告スヘシ
- 二 本書ハ發送元/回送先/命令番號等級/包裝種類ノ異ナル毎ニ別紙トスヘシ
- 三 發送元欄ニハ現品ヲ發送シタル場所ヲ記載スヘシ
- 四 拂出數量ハ案内書ノ異ナル毎ニ掲記シ第二回目ヨリ累計ヲ朱書スヘシ
- 五 拂出順號ハ命令番號/回送先等級/包裝種類數量ノ異ナル毎ニ記號順記シ單ニ發送元ノミヲ異ニスルモノナレハ更ニ記號セス通シ順號ヲ用ヒ又拂出數量モ累計ニ加算報告スルモノトス
- 六 到達豫定月日ハ請買人ニ現品ノ引渡ヲ了シタル翌日ヨリ計算記載スヘシ
- 七 命令數量ニ對シ拂出ヲ了シタルトキハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記載シ過不足アルトキハ其ノ數量竝ニ理由ヲ記載スヘシ
- 八 出張所ニ於テ取扱タルモノモ本所ニテ取纏メ報告スヘシ

第十號書式

番號	年	月	日	鹽	額	收	證	何販賣所(藏置所)物品會計官吏官氏名	何收購所(出張所)物品會計官吏官氏名宛	回送案内書番號
等	級	包裝種類	包裝箇數	數	量	賠償價格	到達月日	備考		
一	等	八十斤叭			斤	圓	月 日			
二	等	四十斤叭								

用紙 縦二寸八分 横一寸餘白ヲ存スヘシ

用紙 縦二寸八分 横一寸餘白ヲ存スヘシ

備考

- 一 本書ハ回送案内書ノ異ナル毎ニ調製スヘシ
- 二 到達月日ハ現品ノ到達シタル月日ヲ記載スヘシ

第十一號書式

回送鹽著通知書

何販賣所長(職置所長)印

發送元	等級	一案内書ノ數量	延著數量	到達月日	延著日數	運送請負人申出要	延著ニ對スル見
	一 等	斤	斤	月 日	日		
	二 等						

備考

- 一 本書ハ延著事件ノ異ナル毎ニ別紙ニ調製スヘシ
- 二 到達豫定期日ハ回送案内書ニ依リ記載スヘシ
- 三 到達月日ハ現品ノ到達シタル月日ヲ記載スヘシ
- 四 延著日數ハ到達豫定期日ヲ經過シタル以後ノ日數ヲ記載スヘシ

第十二號書式

明治何年度自何月何日回送延著ニ關スル處分事蹟報告
何月何日提出 何收納所長

區分	件數	數量	徵收金額	延滞日數	延滞事由概要	運送請負人氏名
正當ノ事由ナシト認メ弊 怠金ヲ徵收シタルモノ		斤		最長 10 最短 8		
正當ノ事由ナリト認メ弊 怠金ヲ徵收セサルモノ				最長 15 最短 4		

用紙 横八寸縦代トシテ左側
二寸ノ餘白ヲ存スヘシ

用紙 横八寸縦代トシテ左側
二寸ノ餘白ヲ存スヘシ

備考

- 一 運送請負人数名アルトキハ請負人ノ異ナル毎ニ區分掲記スヘシ
- 二 處分未済ノモノアルトキハ餘白ニ件數、數量、延滞日數ヲ掲記スヘシ

第十三號書式

回送鹽損害調査書(損害賠償處分済報告)

被害發生ノ日 時場所及原因	發送元	回送先	等級		百斤當 賠償價格	數量	賠償價格	假定等級	百斤當 價格	假定價格	差引價格	損害價格	備考
			一 等	二 等									

何販賣所(藏置所)調査主任

宣氏名印

(何收納所長印)

何運送株式会社何支店

立會人氏名印

備考

- 一 亡失ニ係ル調査ハ本書式ニ準シ作製スヘシ
 - 二 損害賠償處分済報告ニハ備考欄内ニ運送請負人ノ氏名及賠償年月日ヲ記載スヘシ
- 專賣局販賣部長通牒丁第二四八一號ノ二 (明治四十一年五月二十一日)
- 今般鹽回送規程御達相成候處尙右回送方ニ關シテハ左記ノ事項御注意相成度候也 右依命
- 鹽回送取扱方ニ關スル注意事項

- 一 鹽回送規程第三條第一項但書ニ依リ收納所及其ノ出張所、藏置所間相互ノ融通移送ニ付テハ六箇月毎ニ其ノ見込數量及運賃ヲ調査シ豫メ本局ノ承認ヲ受クルコト
- 二 回送又ハ荷揚倉入ニ關シテハ收納所又ハ販賣所毎ニ一名ノ運送請負人又ハ荷揚請負人ヲ指定スルヲ原則トスヘキモ地方ノ狀況ニ依リ已ムヲ得サルトキハ本局ノ承認ヲ受ケ便宜ニ收納所又ハ一販賣所管内三名以内ノ運送請負人又ハ荷揚請負人ヲ指定スルヲ妨ケサルコト
- 三 回送鹽ノ賣渡上假令逆送トナルヘキ地方ニ對シテモ横濱港ヲ除クノ外總テ販賣官署ヲ經由シテ鹽ヲ賣下クルヲ要ス尙若シ之カ爲實行上甚シキ不便不利ナル地方ニ付テハ精密ノ調査ヲ遂ケ本局ニ之ヲ報告スルコト
- 四 鹽ノ海運ニ付テハ汽船ニ依ルヲ原則トスヘキモ特殊ノ事情アル地方ニ於テハ帆船ニ依ルヲ妨ケサルコト

第八章 回送

五 鹽ノ回送ハ一切保險ニ付セス從テ海運上成ルヘク老朽船ニ積込マサル様注意スルヲ要ス尙若シ保險ニ付セサル結果回送上ニ影響ヲ及ボスコトアラハ之ヲ報告スルコト

六 鹽ノ回送上船繰者ハ貨車ノ配給ニ付テハ運送請負人ヲ督勵スヘキハ勿論收納官署ニ於テモ常ニ關係局所ニ交渉シテ精密ノ調査ヲ遂ケ船積及配車ノ圓滑ヲ圖ル様注意スルコト

七 回送鹽運送監督ニ付テハ明治三十八年五月甲第八八〇七號專賣局長達回送煙草運送監督ニ關スル手續ヲ準用スルコト

八 收納官署ニ於テ販賣官署ニ鹽ヲ回送スルトキハ亂俵若ハ量減アルモノヲ避ケ成ルヘク新規收納鹽ヲ以テスルコト

九 各販賣官署ニ於テ徵收スヘキ回送費ハ鹽回送規程第一條ニ依リ定メタル關係近接收納官署ヨリノ平均額ニ荷揚倉入費ヲ加ヘタルモノニ依リ本局ニ於テ相當割引ノ上之ヲ決定シ當該販賣官署ニ通知スヘシ但シ同一賠償區域内ノ融通移送ニ係ルモノ若ハ逆送ニ係ルモノノ回送費ハ別ニ之ヲ徵收セサルコト

十 回送鹽ノ引渡方ニ付テハ成ルヘク船渡若ハ貨車渡ノ方針ヲ採リ受渡相互ノ利便ヲ圖ルヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ荷揚倉入費ヲ徵收セサルコト

十一 販賣官署ヨリ元賣捌人及小賣人所在地迄ノ回送費ハ買受人ニ於テ之ヲ支辨セシムルコト

十二 收納官署又ハ販賣官署ニ於テハ回送鹽運賃又ハ荷揚倉入費臺帳ヲ調製シ置キ收納官署ニ在リテハ鹽ノ到達豫定期間及運賃、販賣官署ニ在リテハ荷揚倉入費ノ異動沿革ヲ明確ナラシメ參考ノ資料ニ供スルコト

十三 博覽會及共進會出品用トシテ一種類ニ付十斤以内、鑑定研修其ノ他參考標本用トシテ一種類ニ付二斤以内ノ鹽ヲ各所間ニ於テ受渡ヲ爲ス場合ハ回送命令ノ申請及鹽回送規程ノ拂出計畫其ノ他受拂ニ關スル報告ハ之ヲ省略スルコト

右ノ如ク鹽回送規程ヲ定メタルモ運送請負契約締結ノ結果門司販賣所ニ對スル味野及阪出兩收納所竝細島藏置所ニ對スル尾道收納所ノ回送費ハ他ノ關係收納所ヨリノ回送費ニ比シ殆ト倍額ノ割高ニシテ著シク徵收回送費ヲ超過スルカ爲之ヲ存置スルハ計理上不得策ト認メ之カ關係ヲ削除シタリ

專賣局長官達丁第三四六八號 (明治四十一年六月三十日)

鹽回送規程中左ノ通改正シ明治四十一年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一條表中門司ノ欄味野「阪出」ヲ、細島ノ欄尾道ヲ削ル

次ニ鹽ノ回送案内ヲ適實ナラシムル爲左ノ如ク定メタリ

專賣局長官達丁第三九四五號 (明治四十一年七月二十一日)

鹽回送規程中左ノ通改正シ明治四十一年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十條末尾ニ「回送案内書中ノ記載事項ヲ變更シタルトキ亦同シ」ヲ加フ
第八號書式鹽回送案内書備考ニ左ノ如ク改メ備考四ヲ加フ

二 回送鹽船送ノ場合ニ於テハ積載船舶名ヲ備考欄内ニ記載スヘシ
四 運送請負人カ回送鹽ヲ數回ニ分割發送スル場合ニ於テハ發送月日及到達豫定月日欄ニハ其ノ記入ヲ省略シ備考欄内ニ其ノ等級包裝種類、數量別發送月日、到達豫定月日及積載船舶名ヲ區分記載スヘシ

門司販賣所所屬販賣區域内ニ於テハ上級鹽ノ需要多ク之カ配賦要求ニ應スル爲左ノ如ク追加シ
タリ

專賣局長官達丁第五〇三四號（明治四十一年九月十九日）

鹽回送規程中左ノ通改正シ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一條表中門司ノ欄ニ「味野」阪出ヲ加フ

鹽ノ回送船カ回送先港灣ニ到着後荷揚倉入迄ノ間ニ於テ生シタル亡失損傷ハ回送先官署ニ於テ處分スルヲ適當ナリト認メ左ノ追加ヲ爲シタリ

專賣局長官達丁第七五〇三號（明治四十一年十二月二十一日）

明治四十一年五月二十一日丁第二四八一號鹽回送規程中左ノ通改正ス

第十六條ニ左ノ一項ヲ加フ

鹽ノ荷揚倉入中亡失損傷アリタルトキハ回送先販賣所又ハ藏置所ハ前項ニ準シ之ヲ處理ス
ヘシ

明治四十一年七月回送制度改正以來約一箇年間ノ實驗ニ鑑ミ回送規程中改廢ノ要アルモノト認
メ後記ノ改正ヲ爲シタリ其ノ要點ハ左ノ如シ

一 發送元官署中關係回送先官署ニ對シ從來回送ノ實績モ殆ト之ナク本年度ニ於ケル回送見

込高モ亦甚タ少キモノハ之ヲ關係回送先官署中ヨリ削除シタルコト

二 發送元ヨリ回送先ニ至ル運送ト回送先ニ於ケル荷揚倉入トハ同一人ヲシテ請負ハシメ尙其ノ請負契約期間ヲ毎年二期ニ變更シタルコト

三 鹽回送高表ハ本月中ノ差引回送見込高ヲ以テ翌月分ノ回送ニ充ツルモノナルニ付新規收納鹽ヲ回送セシムルノ主旨ヲ達セサルカ如キ形式ナルニ依リ右ハ翌月分ノ收納見込高竝賣渡見込高ニ依リ差引翌月分ノ回送見込高ヲ報告セシメ鹽需要高表モ亦之ニ準シ報告セシメタルコト

四 回送鹽ノ亡失損傷及延著ニ對スル運送請負人責任ノ有無ハ原則トシテ回送先官署ニ於テ其ノ調査決定處分ヲモ併セ爲サシメ若シ其ノ亡失損傷又ハ延著ノ原因カ發送元附近ニ於テ發生シ回送先ヨリ前ニ知リタルトキ例外トシテ發送元ニ於テ調査處分セシメタルコト但シ一口ノ金額三百圓以上ノ事件ハ本局ニ於テ之ヲ處分シタルコト

五 回送鹽延著通知書及回送鹽引渡簿ヲ廢止シ損害賠償處分濟報告ハ延著處分事績報告ト同シク毎年二回ニ改メタルコト

專賣局長官達丁第三四二三號 (明治四十二年五月二十四日)

鹽回送規程左ノ通相定メ明治四十二年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年五月丁第二四八一號達鹽回送規程ハ本規程施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

鹽回送規程

第一條 鹽ノ回送ハ左ノ關係官署間ニ限り之ヲ行フモノトス但シ本局ニ於テ鹽ノ需要供給上必要ト認メタルトキハ隨時之ヲ變更スルコトアルヘシ

回送先官署	發送元官署	回送先官署	發送元官署
東 京	赤穂、味野、尾道、阪出、撫養	名 古 屋	赤穂、味野、尾道、撫養
仙 臺	赤穂、味野、撫養	伏 木	味野、尾道、三田尻
郡 山	赤穂、味野、撫養	敦 賀	赤穂、尾道、三田尻
青 森	三田尻、阪出	大 阪	赤穂、味野、阪出、撫養
函 館	三田尻、阪出、撫養	境 司	尾道、三田尻
小 樽	三田尻、阪出、撫養	門 司	味野、三田尻、阪出
土 崎	尾道、三田尻	熊 本	三田尻
直 津	赤穂、尾道、三田尻、阪出	鹿 島	三田尻、阪出
新 潟	尾道、三田尻、阪出	細 島	阪出、熊本
松 本	赤穂、尾道		

第二條 回送先官署ハ其ノ所ニ於テ賣下クヘキ回送鹽ノ產地ヲ門前ニ揭示シ又ハ便宜ノ方法

ヲ以テ之ヲ元賣捌人ニ周知セシムヘシ

第三條 鹽ノ回送ハ第八條但書ノ場合ヲ除クノ外豫メ本局ニ於テ指定シタル鹽運送請負人ヲ

シテ之ヲ取扱ハシムヘシ

第四條 鹽運送請負人ハ左ノ各號ノ資格ヲ有スル者タルコトヲ要ス

一 直接國稅二十圓以上ヲ納ムル者

二 運送業ニ三箇年以上從事シ尙引續キ現ニ從事スル者

第五條 鹽運送請負契約ハ毎年左ノ期間毎ニ更新スルモノトス

第一期 自十月 至十一月

第二期 自十一月 至翌年三月

第六條 發送元官署長ハ現行契約期間滿了一箇月前ニ於テ第四條ノ資格ヲ有スル者ヨリ第一

號書式ノ見積書ヲ徴シ意見ヲ付シテ之ヲ本局ニ提出スヘシ臨時運送請負人ヲ指定スルノ必

要ヲ生シタルトキ亦同シ但シ第八條第一項但書ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條 本局ニ於テ鹽運送請負人ヲ指定シタルトキハ發送元官署長ハ適當ト認ムル保證人ヲ立テシメ第二號書式ノ鹽運送請負書ヲ徵シ之ヲ本局ニ提出スヘシ

第八條 鹽ノ回送ハ本局ニ於テ之ヲ命令スヘシ但シ專賣支局及其ノ出張所間相互ノ回送ニ付テハ本局ノ承認ヲ受ケタル場合ニ限り當該支局長限り之ヲ施行スルコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ其ノ發送元回送先回送スヘキ鹽ノ等級包裝數量及運賃ヲ調査シ其ノ都度稟申スヘシ

第九條 第一條ノ回送先官署長ハ第三號書式ニ依リ翌月分鹽需要高表ヲ發送元官署長ハ第四號書式ニ依リ翌月分鹽回送高表ヲ毎月二十日本局到達ノ豫定ヲ以テ提出スヘシ

第十條 鹽回送命令ヲ受ケタルトキハ發送元官署ハ命令ノ日付後五日以内ニ第五號書式ニ依リ鹽回送計畫表ヲ本局ニ提出シ同時ニ關係部分ニ對スル謄本ヲ回送先官署ニ送付スヘシ其ノ計畫ヲ變更シタルトキ亦同シ但シ第八條但書ノ場合又ハ鹽回送命令ニ對シ命令額全部ヲ即時拂出ストキハ計畫表ノ調製ヲ要セス單ニ其ノ旨ヲ本局竝回送先官署ニ報告スヘシ

第十一條 鹽運送請負人ニ對シ運送ノ命令ヲ爲シタルトキハ回送費豫算執行決議簿當該欄ニ記入ノ上請負人ノ認印ヲ徵スヘシ

第十二條 回送鹽ヲ運送請負人ニ引渡ストキハ主任官吏立會ノ上請負人又ハ代理人ヲシテ現品ヲ調査セシメ回送費豫算執行決議簿ニ領收印ヲ徵スヘシ

第十三條 回送鹽ヲ運送請負人ニ引渡シタルトキハ第六號書式ノ回送案内書ヲ回送先官署ニ送付シ同時ニ第七號書式ノ報告書ヲ本局ニ提出スヘシ

回送案内書送付後回送鹽ノ亡失シタルモノアルトキハ更正案内書ヲ回送先官署ニ送付スヘシ

第十四條 發送元官署ニ於テ鹽ノ收納貯藏ノ不足其ノ他ノ事由ニ依リ其ノ月中ニ回送スルコト能ハサルモノアルトキハ直ニ其ノ產地等級別數量包裝ノ種類箇數及回送不能ノ事由ヲ回送先官署ニ通報スルト同時ニ本局ニ報告スヘシ

前項ノ回送不能額ハ回送命令中ヨリ減額セラレタルモノトス

第十五條 回送鹽到著シタルトキハ運送請負人又ハ代理人ヲ立會セシメ亡失シタルモノヲ除クノ外受入ノ手續ヲ爲シ第八號書式ノ領收證ヲ發送元官署ニ送付スヘシ

第十六條 回送鹽ニシテ運送中亡失損傷シタルモノ又ハ到達豫定期日ヲ過キ到著シタルモノアルトキハ回送先官署ハ第九號書式ニ依リ調査書ヲ作製シ且運送請負人ヨリ一定ノ期間内ニ事由書及證憑書類ヲ提出セシメ責任ノ有無ヲ調査シ亡失損傷及延著ノ責任ノ運送請負人ニ歸スヘキモノハ相當金額ヲ納付セシメ其ノ責ニ歸スヘカラサルモノハ其ノ旨ヲ告知スヘシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ損害金額カ三百圓以上ナルトキハ調査書ハ關係書類ト共ニ之ヲ本局ニ提出シ其ノ承認ヲ受クヘシ

第十七條 前條ニ依リ回送鹽ノ亡失シタルコトヲ決定シタルトキハ回送案内書ノ更正ニ要スル事項ヲ發送元官署ニ通知スヘシ

第十八條 回送鹽ノ亡失損傷カ發送元附近ニ於テ生シ回送先官署ヨリ前ニ知リタルトキハ第十六條ノ手續ハ發送元官署ニ於テ之ヲ處理スヘシ此ノ場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第十九條 亡失損傷及延著處分ノ事績ハ毎年左ノ二期ニ區分シ第十號書式ニ依リ本局ニ報告スヘシ

第一期 自四月十日限

第二期 自三月四月五日限

第一號書式

發送元	回送先	直	接	費	間	接	費	手数料	運賃計	到達豫	備考
		汽車路	陸路	河海路	倉出積込	積替	荷揚(卸)届ケ倉入			日	何地マテ和船等積替
		毛	毛	毛	毛	毛	毛	毛	毛		

右見積候也
年 月 日

營業場所所在地

氏 名(何會社長又ハ代表者)印

專賣局長官宛

備考

- 一 本見積價格ハ鹽百斤當トス
- 二 陸路ノミノ箇所ニ於ケル中繼費ハ直接費陸路ノ欄ニ合算スヘシ
- 三 鐵道廳ヨリ汽車賃割引ノ承認ヲ得タルモノニアリテハ其ノ割引額ヲ備考ニ記載スヘシ

第二號書式

鹽運送請負書

今般左ノ區間ニ回送セラル、鹽ノ運送方明治何年何月何日ヨリ何年何月何日迄拙者(弊社)へ御命令相成候ニ付テハ左ノ各項確守履行可致候

發送元	回送先	何專賣支局何出張所	何專賣支局何出張所
何專賣支局	何專賣支局	何專賣支局(又ハ單ニ引渡地名)	何專賣支局(又ハ單ニ引渡地名)

一 回送鹽ハ別紙見積書記載ノ運賃ヲ以テ豫定到達期日以内ニ回送先ニ引渡可申候但シ發送元ニ於テ倉出ヲ要セサル場合又ハ回送先ニ於テ船車渡ノ場合ニハ見積書記載ノ金額中倉出費又ハ荷揚倉入費ハ不申受候